

平成 21 年 6 月 8 日

大塚駅がワースト1位、400台超の減でも池袋駅は2位 ～平成20年度都内放置自転車台数ワーストランキング発表～

本日東京都から発表のあった「駅周辺における放置自転車等の実態調査」の集計結果により、大塚駅が 1,867 台で昨年より 244 台増え、都内ワースト 1 位（昨年 2 位）。池袋駅では、434 台減少の 1,156 台であったが 2 位となった（昨年 3 位）。調査は、昨年秋に実施したもの。

【これまでの取り組み】

平成 18 年 6 月に策定した「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画（以下 総合計画）」に基づき、平成 27 年度までの計画期間中に、区内全体の駐輪場整備目標を約 6,500 台としている。このうち概ね 4,000 台程度については鉄道事業者からの用地提供等の協力により、残りについては区有地の活用や路上駐輪施設の設置により、実現を目指している。

【大塚駅の現況】

大塚駅については、今まで放置禁止区域を指定ができず撤去ができなかったことにより、昨年より増加したが、本年度はすでに、北口に 5 か所、南口に 2 か所合計 1,110 台分の駐輪場を整備し、この 6 月からは放置禁止区域を指定、即日の撤去活動を実施している。今年秋までには、さらに北口に 275 台分の駐輪場整備を計画しており、これらの取り組みにより、今後は減少することが予測される。

【池袋駅の現況】

池袋駅周辺については放置自転車の絶対数が年々減少し、ワースト 1 位であった平成 17 年度と比べて、約 800 台減少している。「総合計画」策定後これまでに鉄道事業者や道路管理者の協力を得て 4 か所の区立有料駐輪施設を整備したほか、民間駐車場の拡大協力も含め合計 757 台分の収容を図ってきた。また併せて地域の協力を得たキャンペーン等の啓発活動や、放置自転車の撤去活動を強化し、自転車の放置を抑制してきた。「総合計画」による取り組みが少しずつ着実に成果を挙げてきたといえる。

【今後の対策】

今後、「総合計画」の計画期間中に、池袋駅周辺では約 700 台、また、大塚駅周辺では、JR 東日本用地である南口駅前広場の地下空間を活用して、約 1,000 台の駐輪場を整備する計画である。

駅	調査実施年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
池袋	都内ワーストランキング	1位	1位	1位	2位	3位	2位
	放置自転車数	2,294	2,217	2,086	1,807	1,590	1,156
大塚	都内ワーストランキング	2位	2位	2位	3位	2位	1位
	放置自転車数	1,930	1,951	1,928	1,756	1,623	1,867

問合せ：交通対策課